

「ワタリガニ(ガザミ)漁」再開！

産卵期の禁漁期間（6/1～6/15）を経て、ワタリガニ（ガザミ）漁が最盛期を迎えています。

ガザミは水深 30 メートル程度の沿岸部に生息しており、夜行性で日中は砂泥底にもぐり、暗くなると海中を泳ぎ回ります。

ガザミ漁は主にすくい網漁で行われ、船を巧みに操り長い柄のたもで海面に浮いてきたガザミをすくいます。

ガザミ漁は、8月上旬頃まで行われ、たくさんの船が夏まで有明海を走り回ります。

ワタリガニは、ハサミを除いて 4 本ある足（第 1 歩脚～第 4 歩脚）のうち一番下の足（第 4 歩脚）が他のカニとは違い遊泳脚とも言われ、先端部分が平らでヒレ状になっていて、この遊泳脚を使い海中を自由に泳ぐことができます。このように海を泳いで渡ることから「渡り蟹」と呼ばれています。英名では「Swimming crab」となっています。

◎カニの仕分け作業（有家漁協）

